

2020 年度事業計画

2020 年 4 月

学校法人 桑沢学園

目次

■ 基本方針	2
■ 学校法人桑沢学園の主な事業計画	3
■ 東京造形大学の主な事業計画	9
■ 専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業計画	18

基本方針

学校法人桑沢学園では、継続的な経営・運営を行うための基本指針である「学校法人桑沢学園 中期ビジョン 2020」を 2015 年度に策定いたしました。そして、2016 年度には、同法人の設置校である東京造形大学並びに専門学校桑沢デザイン研究所において、中期ビジョンを具体化した「学校法人桑沢学園 中期実行計画 2020」を策定いたしました。

本事業計画は、「学校法人桑沢学園 中期実行計画 2020」における 2020 年度の実施項目を具体的に示し、単年度の計画として取りまとめたものです。

本事業計画に基づき、各実施項目の実行に努めます。

学校法人桑沢学園の主な事業計画

— 中期実行計画 2020 「財政健全化」・「戦略的経営」 —

安定的かつ持続的な経営・運営を行うために、財政健全化（財政基盤の強化）策に取り組み、収支の安定化に努めます。また、基本政策の策定、ブランド戦略と情報発信の強化、リスクマネジメント体制の強化等に取り組み、戦略的な経営・運営に努めます。

- 計画的な財政運営
- 収入財源の多様化
- 経費削減の推進
- 経営のガバナンス改革
- 教学組織の意思決定・運営体制の強化
- 中期ビジョンに基づく戦略的経営
- キャンパス整備マスタープランの策定
- SD活動の推進
- 人事考課制度の導入
- 労務管理体制の強化
- 学園運営に関する情報公開の促進
- コンプライアンスの推進
- リスクマネジメント体制の強化

■ 計画的な財政運営

安定的かつ持続的な財政運営を目指し、以下を実施します。

実施事項	実施内容	
基本金組入計画の立案	第2号基本金	東京造形大学 彫刻棟（11号館）建替計画 組入期間：2017年度～2021年度 組入額：年5億円 総額25億円
	第3号基本金	奨学資金 組入期間：2016年度～2025年度 組入額：年1億円 総額33億円（積立残高30億6,300万円） 基金の運用益の一部（3,000万円）を奨学資金として運用
		学事振興資金 総額3億円達成 基金の運用益の一部（300万円）を学事振興資金として運用
資産運用・蓄積計画の立案	減価償却 引当特定資産	年3億円積立 （減価償却累計額111億800万円、積立残高52億4,400万円） ¹
	退職給与 引当特定資産	年5,000万円積立（積立残高13億1,500万円） ²
教職員の人件費計画 （雇用計画）の立案	人件費比率 ³ 50%程度を想定した雇用計画を立案	

¹ 2018年度決算値

² 2018年度決算値

³ 経常収入（教育活動収入計+教育活動外収入計）に占める人件費の割合

■ 収入財源の多様化

以下のとおり、外部資金の獲得強化を図ります。

1. 補助金

(1) 補助金申請

以下の補助金の申請を行います。また、申請可能な補助金制度を調査し、獲得に努めます。

部門	区分	名称	内容	
大学	私立大学等 経常費 補助金	一般補助	専任教職員数及び学生数を基に、学生定員の管理状況や学生生徒等納付金の教育研究経費等への還元状況等に応じて交付される補助金	
		特別補助	授業料減免 事業等支援	災害罹災学生等に対する学生納付金減免に対する補助金
	八王子市による補助金	結核予防費 補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	
研究所	東京都 による 補助金	私立専修学校 教育環境整備費 助成事業	自己点検・自己評価に対する補助金	
		私立専修学校 教育環境整備費 助成事業	コンピュータ室一式に対する補助金	
		結核予防費 都費補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	

(2) 補助金申請事務の見直し

申請に係るデータを適切に収集し、正確な補助金申請を行うために、事務フロー及び手続きを見直します。

2. 寄付金

教育研究基盤を更に強力に構築していくために、「教育振興基金」（寄付金）の募集活動において、以下の取組みを実施します。

- (1) 入学式、卒業式等、多くのステークホルダーが集まる会場で、寄付金趣意書を配付する等の取組みを行います。
- (2) 高額寄付者に対するトップセールス（理事長による御礼訪問）を継続して実施します。

■ 経費削減の推進

経費削減の推進を図るために、以下を実施します。

1. 人件費の適正化

人件費比率50%程度の維持を目標に、引き続き管理・運営体制の強化・スリム化を図ると

ともに、適正な雇用計画を立案します。

2. Web給与明細の導入

Web給与明細の導入を検討します。これにより、ペーパーレス化を図るとともに、明細の準備に係る人件費を抑制し、経費削減に努めます。

■ 経営のガバナンス改革

経営のガバナンス改革に向け、以下を実施します。

1. 私立学校法改正に伴う対応の実施

2020年4月の私立学校法改正の内容を受け、諸規程の整備・公開、ガバナンス・コードの策定等の必要な施策を進めます。

2. 規程管理システムの導入

規程等の制定及び改廃時の事務処理、並びに規程等を利用する際の利便性を高める等、業務の正確性の向上及び効率化を図るため、規程管理システムを導入します。

3. 顧問税理士の設置

日常的な経理業務及び税務相談、及び決算時における収益事業の対応等のため、顧問税理士を設置します。経理財務の処理軽減が見込まれ、また経理財務課職員のスキルアップにも役立ちます。

■ 教学組織の意思決定・運営体制の強化

教学組織の意思決定・運営体制の強化に向け、教学に関するガバナンス・コードの策定に向けた検討を進めます。

■ 中期ビジョンに基づく戦略的経営

中期ビジョンに基づく戦略的経営を行うため、以下を実施します。

1. ビジョンに基づく計画立案

「中期ビジョン2020」、「中期実行計画2020」に基づき、事業計画・予算計画を立案することで、主体的に改革を推進します。

2. 「管理職ミーティング」の実施

経営（理事長）と事務部門（各部署の責任者）の情報共有、意見交換の機会として、「管理職ミーティング」を年1回実施します。

3. 次期中期計画の策定に向けた検討

私立学校法改正の内容を受け、また「中期ビジョン2020」、「中期実行計画2020」が最終年度を迎えることから、学園の将来ビジョンについて検討を行い、学校法人桑沢学園の次期中期計画を策定します。

■ キャンパス整備マスタープランの策定

以下の計画立案に向けた取り組みを実施します。

実施校	計画の内容	備考
大学	11号館(新彫刻棟)運用方法検討	第2号基本金組入計画(理事会承認) 彫刻専攻領域だけでなく、全専攻領域の学生が使用できる作業スペースとしても運用する方針
研究所	建物修繕計画の立案	校舎の老朽化度合に関する診断を実施し、結果応じた修繕計画を策定(専門業者へ委託)

■ SD活動の推進

職員の能力及び資質向上のために、以下のSD⁴活動を組織的に展開します。

目的	実施校	実施項目	対象者	実施内容	備考
高度専門知識の修得	学園	新人研修	新入職員	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員研修(規程等に関する学内研修) 学校職員基礎講座 学校コンプライアンス講座 	5月に実施(学外)
		大学院への進学助成	職員	桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科(通信教育課)への進学助成	若干名
		ハラスメント防止研修会	全教職員	教職員のハラスメントに対する理解の促進	年1回
		自己啓発研修費助成制度(1)	全職員	個々の職員が行う自己啓発研修への助成	1名当たり上限3万円
	大学	日本私立大学協会主催研修	事務局長部課長クラス	<ul style="list-style-type: none"> 事務局長相当者研修会 部課長相当者研修会 学生生活指導主務者研修会等 	随時(学外)
	学園	業務マニュアル	全職員	各業務の概要・手順書・年間予定表を最新の状況に更新し事務局内で共有	随時実施
		職位等に応じた研修制度(2)	全職員	職位や経験、業務内容に応じた研修	導入検討
大学	新潟青陵大学・東京造形大学職員合同研修会	全職員	<ul style="list-style-type: none"> 担当業務別意見交換会 外部講師による講演・グループディスカッション等 	年1回	
人事制度改革	学園	自己管理シート	全職員	<ul style="list-style-type: none"> 年度目標等を報告(年度始) 所属長による課員との業務面談の実施、年度目標等に対する進捗・達成状況の把握 	(シートの報告)年度始(業務面談)前後各1回以上

⁴ SD (Staff Development) : 職員の資質向上のために実施する研修等の取組みの総称

1. 職位等に応じた研修制度の導入検討

個々の職員が必要とする知識・技能の習得を促進するために、職位や経験、業務内容に応じた研修の導入を検討します。

2. 所属長による課員との業務面談の実施

自己管理シートの記載内容について確認することを目的として、所属長による課員との業務面談を実施します。所属長から課員への業務指導や、コミュニケーションを図る機会とし、業務の円滑な進行に役立てます。

■ 人事考課制度の導入の検討

客観的な業績・能力評価に基づいた適切な職員配置や昇任人事等を行うために、専門機関が提供する「人事・評価制度構築支援サービス」の活用し、本学園に適合する人事考課制度の導入に向けた検討を行うとともに、管理職を対象とした考課者研修を実施します。

■ 労務管理体制の強化

労務管理体制の強化に向け、以下を実施します。

1. 労務管理の適正化・迅速化

雇用関連法令の改正への迅速な対応、並びに労務管理担当者の業務の効率化を図るために、労務管理システムの運用を開始しましたが、必要な見直しを検討します。

2. 労働環境の改善

働き方改革関連法に対応するため、関連規程の整備を進めます。

■ 学園運営に関する情報公開の促進

教育機関としての社会的説明責任を果たすと共に、ステークホルダーからの信頼獲得に努めるために、以下を学園公式Webサイトで公開します。また、私立学校法改正の内容に基づき、情報公開を促進します。

- ・ 「中期ビジョン 2020」、「中期実行計画 2020」
- ・ 2019 年度事業報告・決算報告
- ・ 2020 年度事業計画・予算計画

■ コンプライアンスの推進

法令遵守の徹底及び教職員の意識向上を図るため、以下を実施します。

1. 内部監査の実施

学内業務が法令及び学内規程を遵守して行われているか、内部監査を実施します。

2. コンプライアンスの推進に向けた環境整備

経営層や教職員の意識・能力の向上に向け、コンプライアンスの推進に関する取り組みを検討します。

■ リスクマネジメント体制の強化

学生や教職員の安全を確保するため、以下を実施します。

1. 防災の強化に向けた取組み

災害時の対応や避難場所・避難経路を確認するために、東京造形大学、専門学校桑沢デザイン研究所それぞれにおいて、避難訓練を実施します（年1回）。

2. 私立学校経営者（役員）の損害賠償責任保険への加入

私立学校法に役員が損害賠償責任が新たに規定されたため、損害賠償責任保険に加入し、不測の事態に備えます。

東京造形大学の主な事業計画

— 中期実行計画 2020「教育改革」・「戦略的運営」 —

デザイン及び美術領域の専門教育機関として、その専門教育の独自性及び特徴を明確にした「教育改革」に取り組み、高等教育機関としての「教育」、「研究」、「社会貢献」それぞれの機能を最大限に発揮するための施策を展開します。

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略の強化
- キャンパス整備
- 自己点検・評価の取組み

■ 学生募集の強化

学生募集の強化に向け、以下を実施します。

1. 学生募集活動

以下の対面活動を重視した学生募集活動を実施します。

	実施項目	実施内容	実施予定
学外活動	高校内ガイダンス、模擬授業、体験授業等	高校1～3年生を対象とした学校説明会の実施	40校
	予備校内説明会、ワークショップ等	予備校生及び予備校講師に向けた説明会及びワークショップの実施	8回
	進学相談会	(株)さんぼう等の業者主催の進学相談会(ブース形式)への参加	20回
学内活動	大学見学	見学希望者へ向けた学校案内(個別対応)	随時
	高校団体による見学会	美術コースを設置する高校による見学会への対応	随時
	専攻領域説明会	6月に開催予定	1回
	オープンキャンパス	7月に開催予定	1回

2. 広報機能の強化

- (1) 大学紹介動画の公開
- (2) YouTube 公式チャンネルを活用した情報発信
公開中の YouTube 公式チャンネルにイベント等の動画を随時追加し、本学への興味関心の向上を図ります。
- (3) 広報用の記録撮影を実施（年 8 回実施予定）
広報用素材の充実を目的に、カメラマンによる記録撮影を実施します。
- (4) 大学概要紹介冊子の制作、発行
主に企業や他大学関係者等本学来校者配付用として、本学への理解を深めてもらうことを目的とした冊子を制作、発行します。
- (5) プレスリリース配信代行業者利用による情報の発信
外部業者のネットワークを活用した情報の拡散により、さらなる認知度の向上を図ります。
- (6) 各種広告媒体の活用による広報
交通、新聞、雑誌、Web 等各広告媒体の特性を考慮し、訴求力のある媒体への広告出稿を行い、本学への興味関心及び認知度の向上を図ります。
- (7) SNS (Social Network Service) の活用
本学の知名度向上を図るために、以下の公式アカウントを通して、在学生・卒業生・教員の活動を広く学外に発信します。
 - ・ 東京造形大学公式 Facebook
 - ・ 東京造形大学附属美術館公式 Facebook
 - ・ 東京造形大学公式 Instagram
 - ・ 東京造形大学附属美術館公式 Instagram
 - ・ 東京造形大学公式 Twitter
 - ・ 東京造形大学附属美術館公式 Twitter

3. 外国人留学生入試の新設

A0 入試及び一般入試で外国人留学生の志願者が急増していることに伴い、グローバル人材へ開かれた入試制度として外国人留学生入試を新設します。

4. 一般入試デザイン学科実技試験科目の新設

普通科や工業科の高校生（高校の授業や美術予備校などでデッサンや平面構成の指導を受けていない高校生）を対象として想定した実技試験「発想力」を新設します。

■ キャリア支援の強化

キャリア支援の強化を図るため、以下を実施します。

1. キャリアデザイン科目（正課内）履修の促進

2018年度からの教育課程で開設している「キャリアデザイン科目」について学生の履修を促進するために、掲示物やキャリア支援イベントでの告知などを通じて周知します。

2. キャリア開発支援プログラム（正課外）の実施

過年度のキャリア関連イベントの開催日時や開催時期を検証し、学生のイベント参加を更に促進するために、年間の開催計画を変更します。前年度に引き続き、低学年（学部1、2年生）を対象としたセミナーを、外部講師を招いて年6回程度実施します。

実施項目	実施内容	実施予定回数
就職対策講座	エントリーシート作成指導、自己分析、面接、プレゼンテーション対策講座、SPI試験対策、一般常識・職務適性テスト等	18回
ポートフォリオ作成指導	ポートフォリオの作り方講座、ポートフォリオ閲覧会等	5回
企業研究セミナー	広告・ゲーム・アニメ業界等企業研究セミナー等	14回
各種資格検定	TOEIC IPテスト	2回
低学年向け就職講座	学部1、2年生を対象としたキャリアデザイン講座	6回

3. キャリア支援室の利用促進

年3回程度、学生の昼休みの時間帯に10号館食堂前の吹抜けスペースに「就職課キャリア支援室紹介コーナー」を設置し、キャリア支援室の認知度向上を図ります。来室を促すリーフレット等を配付し効果測定を実施しつつ、来室した学生に対しては一人ひとりの学年や就職活動状況に応じた助言・サポートを行います。

■ 教育力の強化

教育力の強化を図るため、以下を実施します。

1. 教育課程改革

2018年度に改編した教育課程を、継続して運用します。また、具体的な取り組みとして、以下を実施します。

- ・ 「プロジェクト科目」（2019年度新規開講）の開講基準を決定（従来は一律の開講基準を設けず、授業科目ごとに審議のうえ開講を決定）
- ・ 教職課程の認定基準変更（教職課程再課程認定）に伴い、その基準に沿った教職課程の運用

2. 学力の保証・教育の質保証

- (1) ルーブリック制度の導入推進
2017年度に導入したルーブリック⁵の導入科目を拡大します。
- (2) 授業評価アンケートの実施
授業の改善に向け、授業評価アンケートを継続実施します（前期・後期各1回）。アンケート結果を担当教員へ開示し、授業評価の低い教員には改善報告書の提出を要請します。
- (3) クリエイティブスタディガイドの配付
学修のガイドブックであるクリエイティブスタディガイドを新入生に配付し、学修の動機付けと導入教育の補完を図ります。

⁵ 学修における達成水準を数段階に分けて記述し、学習の達成度を判断する基準を示す教育評価法

3. FD活動の実施

以下のFD活動を実施するとともに、受講促進に向けた取り組みを行います。また、FD活動を教員評価制度に反映する仕組みを検討します。

実施項目	実施内容	実施予定回数
学生対応に関する講演会	本学カウンセラーによるメンタルヘルスに関する講演会	1回
キャンパス・ハラスメント防止研修会	外部講師による研修会	1回
授業評価アンケート	アンケート結果を担当教員へ開示、授業評価の低い教員は改善報告書を提出	2回 (前期・後期 各1回)
FD研修会	授業の質向上、教員の資質向上に資する研修会を実施	1回
FD授業参観	専任教職員が、他の専任教員の授業を参観し、自身の業務に役立てる	1回
博士後期課程意見交換会	博士後期課程の運営に関する意見交換・大学院研究科長による講義	1~2回

4. 学修成果の発信強化

- (1) 博士審査展の改善
審査体制の課題について、改善を検討します。
- (2) ZOKEI展（卒業制作展）及び博士審査展の開催
学修の集大成を発表する場として、開催します。2020年度は、2019年度の開催期間を踏まえ、3日間の開催とします。
- (3) 東京五美術大学連合卒業・修了制作展の開催
美術領域の学修成果を発表する場として、国立新美術館で開催します。運営には学内外のアーティストを活用し、学生指導、美術館対応等で安定的な運営を実現します。

5. 教育研究成果の発信強化

教育研究成果の発信に向け、以下の事業を実施します。

事業名称	実施代表者 (専攻領域)	概要
「Foodesign project」 食とデザインの新しい 関係性の提案 (展示)	森田敏昭 (インダストリアル デザイン)	食分野へのデザイナーの関与を、現代のニーズに基づきもう一步踏み込んで、「食べ物」自体に広げていく新しい試みの成果を展示する。 開催場所：都内 開催時期：11月
「会津プロジェクト」 祈りのかたち (展示)	森田敏昭 (大学院)	会津若松市にある企業との産学連携により、院生ならではの新しいプロダクトやサービスの提案などの企画の成果発表展を行うというもの。 開催場所：会津若松市 開催時期：2月から3月
東京造形大学-パナソニック- Forbo Flooring BV 連携プロジェクト (展示・ワークショップ)	森田敏昭 (大学院)	企業と連携し、リノリウム素材を使用した家具や雑貨によってインタラクティブな環境を表現し、ワークショップ形式によりこれからのライフスタイルの提案を行う。 開催場所：未定 開催時期：2月から3月
『東京造形大学アニメーション 専攻チャンネル / ANIZO SPIRAL !』の開設	和田敏克 (アニメ)	アニメーション専攻領域で集積された歴史的記録やその作品群といった貴重で膨大な教育の実績を、より広くかつ恒久的に伝えるため、チャンネルサイトを立ち上げる。あわせて資料展示企画やワ

(サイトの開設・展示・ワークショップ)	ークショップの開催を実施する。 開設時期：12月
---------------------	-----------------------------

■ 研究の研鑽

研究の研鑽を図るため、以下を実施します。

1. 「教育研究助成金制度」の運用（総額 1,000 万円）

学術研究の更なる推進を図るために、研究助成枠を継続的に運用し、以下の事業を実施します。

研究テーマ	実施者 (専攻領域)	助成額
Zokei Da Vinci Project 全成果の記録と公開	池上英洋 (教養科目)	229.1万円
アジアのシティ・スケープの研究	上田知正 (室内建築)	60万円
東京造形大学における特別講義アーカイブスの作成とその教育と研究への活用に関する予備的研究(2)	小出正志 (アニメーション)	179.5万円
創造主義を支えるシステムの顕在化	小林貴史 (教職課程)	60万円
教育研究の一環として都心の画廊での本学学生が参加する展覧会を企画する	近藤昌美 (絵画)	10万円
「危機なき時代」のパルタージュ	清水哲朗 (絵画)	50万円
高田唯准教授の中国展示、作品集制作及び、それに関わるイベント活動(中国とのアート・デザイン交流による未来の教育の可能性を探る)	高田唯 (グラフィックデザイン)	191.4万円
自然景観の原初性が想起させる人間の野生との共時性について	中里和人 (写真)	70万円
彫刻における人間像の現代性の考察 ―空間、色紙、線― 『ミニマリズム以降の人間像』(仮題)の出版	藤井匡 (教養科目)	50万円
『憲法9条再入門(仮題)』出版	前田朗 (教養科目)	50万円
国際協力量野における造形美術の普及のための書籍出版 「ART で国際協力 ―世界中に『どこでもドア』をつくろう!」(仮)	山田猛 (教職課程)	50万円

2. 地域に根差した研究の推進

八王子市及び地域社会との連携を強化し、教育研究や地域貢献につながる取り組みを継続して実施します。実施が決定されている事業は以下のとおりです。

事業名	受託 ・ 共同研究費	委託元
八王子高齢者支援団体PR動画制作	1本約30万円	八王子市
八王子彫刻図録原稿執筆制作研究	約50万円	八王子市

NINGA DESIGN COMPETITION	約20万円	(株)山櫻
東京2020大会に向けたアートプロジェクト	約750万円	八王子市

3. 学術機関リポジトリ⁶による研究成果発信

国内外の大学及び研究機関との積極的な共同研究を推進するために学術機関リポジトリにて、「東京造形大学研究報」、「博士課程学位論文の内容及び審査結果の要旨」等を公開します。

4. コンプライアンス研修会及び科研費説明会の実施（9月に実施予定）

研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインを踏まえた研修会及び科学研究費の獲得を図るための申請方法等に関する説明会を実施します。

■ 学生サポートの充実

学生サポートの充実を図るため、以下を実施します。

1. 教学支援システム「GAKUEN」の安定的な運用

2018年度より導入、稼働している「GAKUEN」の安定運用を図るため、担当者のスキルアップ、運用担当の十分な引継ぎを実施します。また、開発ベンダーであるメーカーのSEの支援サービスを活用し、抽選処理や成績査定、年次更新等のシステム処理のサポートを依頼します。

2. 全学的なサポート体制の構築

全学的なサポート体制の構築を図るために、以下を実施します。

実施項目	実施内容	実施予定
障害のある学生に対する 学内支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア学生の確保 合理的配慮の実施学生への継続的支援 福祉車両レンタル 等 	随時
学生相談への対応強化	<ul style="list-style-type: none"> カウンセラー・ミーティング (カウンセリングルームとの情報交換会)の実施 	2回
	<ul style="list-style-type: none"> 精神科医との校医契約継続 	月3回来校
	<ul style="list-style-type: none"> 医務室の環境整備 	随時
リテンション率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 休学・退学希望者と教員の面談 英語プレースメントテストの結果に基づくクラス分けとクラス別ミーティングの実施 保護者への出欠情報提供 (Campus Net) 連続欠席学生への職員からの電話連絡 	随時

3. 被災学生支援

東日本大震災等の災害救助法適用地域に居住する世帯の学生を対象として、最短の修業年限の間、被災状況に応じ継続的に学費を減免します。

⁶ 研究機関が論文等を電子的形態で集積・保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

■ 国際交流の推進

国際化の推進に向け、以下を実施します。

1. 留学生受入体制の強化

協定校から受け入れる留学生の学修面、生活面ともにより充実したものとなるよう、受け入れる各部会との協力体制を再構築し、改善に努めます。

2. 外国人留学生サポート体制の強化

2018年度から開講した交換留学生向けの授業科目（一般学生も履修可能）について、交換留学生がさらに履修をしやすい開講日、開講時間とすることを目指します。また日本語の学修を希望する留学生が多いため、授業科目への日本語教育の追加を検討します。

■ 社会連携・貢献の強化

社会連携・貢献の強化に向け、以下を実施します。

1. 接続教育プログラムの充実

小・中・高・大連携事業の一環として、各学校からの依頼に応じて実施している「接続教育プログラム」について、内容の改善に向けた検討を行い、2020年度の新プログラム開設を目指します（現在のプログラム数：14）。

2. 知的財産を利活用したビジネスモデルの構築

教員から承継した意匠を活用し、知的財産の利活用をサポートする団体や企業等協力者を得つつ、美術系大学ならではのビジネスモデルを構築します。

■ ブランド戦略の強化

ブランド戦略を強化するため、以下を実施します。

1. ブランドイメージの構築

(1) PR会社との協働

本学のリブランディング計画及び広報活動計画立案に向けた検討を、PR会社との協働により行います。本学独自のタグライン⁷制定に伴い、タグラインを活用した広報展開を実施し、学内外に対して本学のブランドの浸透を図ります。

(2) ロゴマークの運用方法見直し

大学ロゴ及びロゴタイプの刷新に伴う活動として、各種広告やステーションナリー等への更新を段階的に行い、本学に対するイメージの浸透を図ります。

⁷ 企業やブランドが持つ価値をわかりやすく伝えるためのフレーズ

2. 展覧会・ワークショップの開催

美術館にて以下の展覧会を開催します。

名称	期間	内容
東京造形大学 第6回助手展	3月17日 ～4月20日	教育運営や学修のサポートを行う助手による展覧会
ZOKEI 賞 選抜作品展	5月14日 ～6月20日	2019年度の卒業制作展で、ZOKEI 賞を受賞した優秀作品の中から、美術館で選抜した学生の作品を展示
企画展	9月7日 ～10月7日	教員による企画展を開催予定
高橋淑人教授 退職記念展	10月28日 ～11月28日	2019年度に本学を定年退職する教員の退職記念展 長年にわたり教鞭をとり後進の育成に携わった、美術学科絵画専攻領域高橋教授の作品を展示

■ キャンパス整備

学修環境及び学生生活環境の改善及び充実、ICT環境の整備を図るために、以下を実施します。

目的	実施項目	備考
学修 環境整備	教室の仕様変更	・ 調光型LEDスポットライト化 (7-408～411教室をプロジェクター使用に対応)
	教室流し台の更新	・ 7-309～311教室の流し台更新、7-306～8教室不用流し台撤去 (授業スペース拡張)
	IHコンロ導入	・ 7-309教室 (火災防止)
	換気扇設置	・ 7-105教室 (粉じん、臭気を換気)
	集中空調用 ダクト撤去	・ 7号館2～4階の各教室のダクト撤去 (スクリーン設置のため)
	機材の拡充	・ 403・404教室、CS管理室、アニメーション教室のPC更新(70台) ・ 404・405教室のPC増台(56台) ・ 7-404教室へWindowsPC 50台更新、MacPC 50台を同教室併設 ・ 高性能デジタルカメラの導入 ・ Adobe 包括契約、StudentOption新規3年契約更新 ・ テキスタイル教室作業用イス130台更新 ・ 7-401～405教室(PC教室) デジタルワイヤレス音声一式設置 ・ 7-105教室 光造形方式3Dプリンタの導入 ・ 7-105教室 産業用ハイエンド3Dプリンタ導入

目的	実施項目	備考
学生生活 環境整備	個別空調の導入	・ 4号館B, C教室、7号館各実習室
	排水・防水工事	・ 造形広場壁面防水工事 ・ 7号館1～4階通路防水工事
	その他設備更新 (老朽化対応)	・ 食堂内厨房機器更新 ・ 空冷チラーユニット更新(5号館) ・ 八王子みなみ野側敷地内屋外サイン工事 ・ 1～4号館講義室内機材等更新
ICT環境 の整備	無線LAN AP 増設・更新	・ 1～13号館にて接続可能エリア拡充
その他、日常的な清掃・整備		

■ 自己点検・評価の取組み

自己点検・評価の取組みとして、以下を実施します。

1. 「在学生アンケート」の実施

在学生の修学状況や生活実態、大学に対する満足度・要望等を把握し、よりよい大学に向けて改善していくために、学部2～4年生を対象に、「在学生アンケート」を実施します（4月）。アンケートの集計結果に応じて関係部署へ対応を要請し、学生サービスの質向上を図ります。

2. 大学機関別認証評価受審

教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受審します。

専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業計画

— 中期実行計画 2020「教育改革」・「戦略的運営」 —

デザイン領域の専門教育機関として、その専門教育の独自性及び特徴を明確にした「教育改革」に取り組み、高い専門的能力と、複雑化した今日の社会状況に対応できる創造的表現力を合わせ持ったデザイナーを育成するための施策を展開します。

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略・情報発信の強化
- キャンパス整備

■ 学生募集の強化

学生募集の強化に向け、以下を実施します。

1. 学生募集活動

以下の学生募集活動を実施します。

実施項目		実施内容	実施予定
学外活動	学生による母校訪問	在校生が出身高校を訪問し、進路指導の教員や後輩へ本校の授業内容や学生生活等に関する説明を実施	20人
	進学ガイダンス	高校内進学ガイダンス及び外部会場でのガイダンスへの参加	高校内ガイダンス170回、外部会場ガイダンス12回
	外国人留学生対象のガイダンス	美術・デザイン系の教育を行う日本語学校の進学ガイダンスへの参加	3回
学内活動	学内説明会	学内にて、オープンキャンパス及び学校説明会を実施。総来場者数目標1,800名	7回
	卒業生作品展	2月に開催予定 (来場者数:2016年度:3,566人、2017年度:4,200人、2018年度:4,328人)	1回

2. 広報機能の強化

2021年度に、夜間部教育課程を社会人が働きながら学びたいというニーズに応えるための修学しやすい教育プログラムへ改編する。

本校の教育プログラムを広く告知し、学生募集を含め、以下の広報機能を強化します。

実施項目	実施内容	
Webを用いた広報の強化	SEO ⁸ ・MEO ⁹ 対策	外部業者を活用した SEO 対策及び MEO 対策
	公式 WEB サイトでの夜間部専攻デザイン科に関する情報発信	動画コンテンツを中心とした、夜間専攻デザイン科募集のための特別のランディングページを公開
	外部 WEB メディアを利用した、夜間部専攻デザイン科に関する情報発信	デザイナーなどのクリエイションに関わる人々が利用するポータルサイトや、デザイン業界への就職を支援しているポートフォリオサイトなどに、本校での学び直しに興味を持たせる記事広告を掲載する。
ソーシャルメディアを用いた広報の強化	Twitter、Instagram、Facebook などのソーシャルメディアを用いたステークホルダーへの情報提供と、広範的な情報発信。	
大学生向けネットワークボード	1都3県に所在する大学キャンパスの校門前・通学路沿いのボード(H1.8×W3.6m/1面/1ヶ月/20か所)への広告掲載。大学卒業後の学び直しを喚起させる。	
駅看板の意匠変更	駅看板の意匠を定期的(年3回)に変更することで印象付ける。	
接触者データの活用	システム導入によって、資料請求及びイベント参加のデータを有効に活用する。	
「卒業生作品展」の広報強化	駅貼り広告(原宿駅)	
	公式 web サイトでの紹介、公式 Facebook での紹介、特設 web サイトの設置	
	情報サイト運営会社(JDN)記事 卒展レポートページ	

3. 外国人留学生対応

増加傾向にある外国人留学生の安定的な確保を図るため、以下を実施します。

- (1) 日本語学校教員に向けた冊子への情報掲載
- (2) 日本語学校内でのガイダンス参加

⁸ SEO 対策 (Search Engine Optimization)
Web 上の検索結果で、本校のサイトを上位に表示するために行う対策

⁹ MEO 対策 (Map Engine Optimization)
Web 上の検索結果で本校の位置をグーグルマップ上に表示させるために行う対策

■ キャリア支援の強化

キャリア支援の強化を図るため、以下を実施します。

実施項目	実施内容	実施予定
キャリアカウンセリング	有資格者による個別の就職相談	100回
就職セミナー	専門講師による就職活動のレクチャーの企画・実施 ※2020年度より、学生のタイプに合わせ、時期をずらして同じ内容で開催する。	12回
企業訪問	内定企業や卒業生の在籍する企業への訪問 (企業との関係維持・企業情報の共有・蓄積)	50社
学内企業説明会	求人企業による学内での説明会(単独・合同) 求人の説明を聞くだけでなく、企業の採用担当者や現場のデザイナーと直に接することで業界についての理解を深める機会を提供する。	70社
支援環境の整備	学生が使いやすく、アクセスしやすいキャリア支援コーナーの環境を整備する。	-

■ 教育力の強化

複雑化した今日の社会状況に対応できるデザイン分野の人材育成を目的とした、専攻デザイン科(夜間部)の開設準備、及び附帯教育の開設、改編を行います。

1. 夜間部の教育課程改編及び専攻デザイン科への改称

夜間部において、社会人が修学しやすい教育プログラムの2021年度開設に向けて、授業運営や人事、施設整備に関する計画を立案します。

2. 新規附帯教育(基礎デザイン専攻)の開講

基礎造形専攻に加え、新たな附帯教育である基礎デザイン専攻を開講し、社会人や一般の方に向けたデザインの基礎教育を提供します。

3. 基礎造形専攻(附帯教育)の教育課程改編

基礎造形専攻の受講生が新たな附帯教育を並行して受講可能とするために、基礎造形専攻の教育課程を改編します。

4. FD活動の実施

以下のFD活動を実施するとともに、受講促進に向けた取り組みを実施します。

実施項目	実施内容	実施予定回数
高等教育無償化に伴う事務対応研修会	高等教育無償化に伴う学生指導等に関する外部講師による研修会	1回
SNS対策講座	ソーシャルメディアリスク・コンプライアンス(炎上防止等)に関する外部講師による研修会	1回

5. 教育成果発信のための事業

教育成果の発信に向け、以下の事業を実施します。

実施項目	実施者	開催予定時期
「エレメントデザイン」授業成果発表展	スペースデザインコース	4月
授業科目「卒業制作」 各ゼミ中間発表展	プロダクトデザイン専攻他	9月
ファッションショー	ファッションデザイン専攻、 ファッションデザインコース	10、2月
卒業生作品展	総合デザイン科（昼間部）3年、 デザイン専攻科（夜間部）2年	2月
附帯教育修了作品展	基礎造形専攻 基礎デザイン専攻	3月

■ 研究の研鑽

教員の研究支援制度を充実させ、研究活動の更なる推進を図るため、「研究助成金制度」（総額200万円）を設けています。

1. 「研究助成金制度」の運用

2020年度の研究助成事業は以下の通りです。

事業名称	概要	実施者 (分野)	助成額
椅子の研究	住環境の設計において密接な関係が欠かせない椅子のデザインについて、その新たな在り方・可能性の研究に取り組んでおり、実制作することでその成果を学生に授業を通して伝える	大松俊紀 (SD分野)	45万円
パッケージデザイン に関わる研究	今後のパッケージデザイン教育への反映を目的とし、生活の中及び環境問題に関係するパッケージデザインの調査と研究	永沼真一郎 (VD分野)	65万円
カクテルドレスの 制作依頼	シルクサテン・レースなど特殊素材でオートクチュールのカクテルドレスを仕立て、市販のプレタポルテとの縫製技法と仕様の違いや、特殊素材の扱いなども研究	辺見小百合 (FD分野)	60万円
「きたれ、バウハウス展」の展示・記録	制作協力依頼を受け参加している「きたれ、バウハウス展」について、各会場での展示、記録を行う	小関潤 (造形分野)	3万 3千円

2. 教員の研究レポートの公開

教員の研究成果を取りまとめた研究レポートを刊行するとともに、公式Webページに掲載します。

■ 学生サポートの充実

学生サポート体制の充実を図るため、以下を実施します。

1. 高等教育の無償化制度への対応

2021年度に授業料・入学金の減免と返済不要の給付型奨学金が支給となる高等教育無償化の対象機関として認定を受けるために、大学等における修学支援に関する対象機関認定に向けた申請手続きを行います。

2. 学生のメンタルケアの充実

- (1) 派遣看護師の委託時間拡大（従来は13時30分～21時30分）
- (2) 心理カウンセラーに加え、精神科医によるメンタルケアの実施
- (3) 学校医による健康相談の実施

3. 学生情報統合管理システム「School Leader」の活用

- (1) 進路指導の充実
「学生Webポートフォリオ管理機能」を活用し、学生の課題やポートフォリオの内容を教職員間で共有することで、進路指導の充実を図ります。
- (2) 学生データの一元管理
従来別のシステムを用いて管理していた「入学前」、「在籍時」、「卒業後」の学生情報を一元的に管理し、入試種別ごとの学生の就学・就職状況や中退率等について調査します。これにより得たデータは、教育課程や広報戦略の改善に向けた検討に活用します。

■ 国際交流の推進

国際交流の推進に向け、以下を実施します。

1. バウハウス・デッサウ財団との連携

バウハウス・デッサウ財団の協力により、バウハウス・デッサウ校の建物見学、ワークショップの実施、学生寮の宿泊、市内名所見学等を通して、バウハウス教育の一端を体験するツアーを実施します（2021年3月下旬予定）。実施後には報告書を作成します。

2. 留学生指導に関する研修への参加

教職員の留学生指導に関する知識の向上と、留学生サポート体制の強化を図るために、留学生指導に関する研修への参加を促進します。また、教職員が研修で得た情報を学内で共有します。

3. 日本語会話を学ぶ授業科目の開設

増加傾向にある外国人留学生の日本語力強化を図るため、日本語会話を学ぶ授業科目を開設します。

4. 外国人留学生用の案内資料作成

外国人留学生の増加に伴い、学生が行う各種手続きに関する資料を中国語版、韓国語版で配付します。

■ 社会連携・貢献の強化

社会連携・貢献の強化に向け、以下を実施します。

1. 社会連携事業「渋谷みやげ」¹⁰の継続実施

渋谷区・障害者就労施設・本校の連携による新製品の開発事業「渋谷みやげ」（2016年度より実施）の継続と発展（事例の拡大）を図るために、活動に参画する学生を募集します。また、この活動をより多くの人に知ってもらうための企画を立案します。

2. デザイナーや企業の協力による学内展覧会

学生へのデザイン教育の一環として、企業の協力により第一線で活躍するデザイナーの作品展や著名なデザインコンペティションの受賞作品展を開催します。

事業名	提携企業	開催予定時期
朝日広告賞受賞作品展	(株)朝日新聞社	9月
グラフィックトライアル	凸版印刷(株)	11月

3. 「第5回全日本高校生デザイングランプリ」の開催

高校との接続教育の一環として、昨年に続き「第5回全日本高校生デザイングランプリ」¹¹を開催します。在学生の出身校等に周知することで高校との連携強化と応募者の増加を目指します（2017年度応募者数：68名、2018年度応募者数：74名、2019年度応募者数：36名、2020年度応募者目標数：100名）。

■ ブランド戦略・情報発信の強化

ブランド戦略と情報発信の強化を図るために、以下を実施します。

1. 教育の使命・目的の明確化

教育の理念・目的・育成人材像を明確化します。

2. 学校自己評価報告書、学校関係者評価報告書の公表

学則に則り、学校自己評価報告書及び学校関係者評価報告書を公表し、本校の取り組みを発信します。

3. シラバスの公表

授業の内容、到達目標、成績評価の基準や方法を記載したシラバスを公表します。

4. 「卒業生作品展」・「教育成果作品展」の情報発信

学修成果を発表する場である「卒業生作品展」（総合デザイン科、デザイン専攻科）と「教育成果作品展」（附帯教育）に関する情報を学外に広く発信することにより、本校のブランド力を高め、学生募集の強化や企業からの求人数拡大を図ります。

5. 公式Webサイト、SNS等を用いた情報発信

公式WebサイトやFacebook等のSNSの更新頻度を上げ、授業の様子や課題作品の好評会、特別授業（著名なゲストによる講演等）の様子を随時発信します。

¹⁰ 渋谷区・障害者就労施設・桑沢デザイン研究所が連携し、「福祉×デザイン×テクノロジー」の組合せで渋谷区ならではのみやげ開発に取り組む事業

¹¹ 毎年異なるテーマを設定し、それに基づく作品を高校生から募集（2019年度テーマ：仮面 [オリンピック]）。優秀作品は卒業生作品展で表彰している。

6. 「KUWASAWA Creative Hub (クワサワ・クリエイティブ・ハブ協議会)」による事業の展開
 教育事業のさらなる発信・振興を図るために、国際交流、広報、企画展示等に関する検討組織として2018年度に発足した「KUWASAWA Creative Hub (クワサワ・クリエイティブ・ハブ協議会)」の事業として、「第5回全日本高校生グランプリ」や校舎1階の展示スペース(2018年度設置)を活用した展示等の企画を実施します。

■ キャンパス整備

学修環境及び学生生活環境の改善及び充実を図るために、以下を計画的に実施します。

目的	実施事項	備考
学修 環境整備	授業用機材拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業貸し出し用パソコン更新 ・ 6階アトリエA プロジェクター設置
	授業用Windowsパソコン追加	・ 授業用の最新Windowsノートパソコンの追加
	Vectorworksのアップデート	・ 授業用の最新Vectorworksのアップデート
	工作室拡充	・ 工作作業集中期間限定で、第二工作室を増設
	大判プリンタ更新	・ コンピュータ室の大判プリンタの更新
学生生活 環境整備	老朽化した校舎の修繕	・ 年次計画による校舎の内装美化
	設備更新・メンテナンス	・ 空調フィルター2種定期交換
	空き教室の開放	・ 自習スペース、コミュニケーションスペースの拡充
その他、日常的な清掃・整備		